

活用という意識で授業をつくり問題に仕立てる!



定期考査や単元テストなどで、「知識及び技能」を問う問題、「一問一答式」で答えられる問題、「選択式の問題」、「抜き出しの問題」が多くなっていませんか?

今年度の全国学力・学習状況調査の問題と結果から「活用」という意識で授業をつくり、問題に仕立てる方法を考えていきましょう。

大問2では、農林水産省のウェブページにある資料の一部を読んで問いに答える問題が出題され、
①助動詞の働きについて理解し、目的に応じて使うこと。
②文脈に即して漢字を正しく書くこと。
③自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にして書くこと。
が求められました。解答類型を見ると、①・②はできていましたが、③については書いているのに条件が満たされず、正答にならなかった解答が多くみられました。条件に沿って自分の考えを書けるようにするにはどうすればよいでしょうか?

◎記述の出題に条件を取り入れましょう。

問題

「スマート農業には、作業を自動化すること以外の効果もあるようだ」のすぐあとに、スマート農業の効果を書き加えることにしました。あなたの考えを書きなさい。

変更

あなたならどのように書きますか? 次の条件1と条件2にしたがって書きなさい。

条件1: 「資料の一部」から必要な情報を引用して書くこと。引用する部分は、かぎかっこ(「 」)でくくること。

条件2: 「例えば、」に続けて書くこと。



授業の中でも、字数や条件等を設定し、一定の負荷を求めつつ、資料を読み取り、考えの根拠が明確になるように必要な情報を引用(知識及び技能を活用)して書けるような活動を取り入れましょう。

大問3の文学的文章を読んで問いに答える問題では、文章の中で使われている表現の技法の名称を答える問題が出題されました。解答類型を見ると、表現の技法の名称を書くことができていない解答が多くみられました。表現の技法については、中学校1年生の「[知識及び技能](1) 言葉の特徴や使い方に関する事項のオ 比喻、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解し使うこと」で学習しています。

なぜ、授業の中で表現の技法を学習しているのに答えることができなかったのでしょうか?

◎選択式の問題と記述式の問題を意図的に出題しましょう。

「お日様の光のように」のような表現の技法を何といいますか?

問題

次のア~エから1つ選び記号で答えなさい。

ア 倒置 イ 反復 ウ 擬人法 エ 直喩

変更

表現の技法の名称を答えなさい。

同じ表現の技法が用いられているものを記号で答える選択式の問題はよくできていました。



授業の中で表現の技法だけを単独で教え、選択肢式で答えさせるのではなく、表現の技法が出てくる場面で名称を聞き、授業の中で書かせることでより理解が深まります。



活用とは、「知識及び技能」と「思考力・判断力・表現力等」を関連付け、それを問題解決の過程と捉えることです。日々の授業づくりの中で、活用という意識で単元を構成し、問題づくりをすることが重要です。